

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・令和5年度は、コロナ禍でできなかった諸活動をほぼ達成することができた。職場体験による職業観の育成、コロナ後の新たな香楠祭の開催、関西方面への修学旅行による幅広い知識の習得と敬愛・共働の精神の涵養、九州大学・熊本大学訪問による学業・進路意識への啓発など、自己実現に向けた取り組みができた。その中でも生徒希望による習熟度別学習会を全学年に行い、個々にあった学力の向上を図った。令和6年度もキャリア教育には力を入れ、生徒の「志」をより高める教育を継続していく。</p> <p>・ICT機器によるオンライン授業や教材の配信、各種アンケートの実施、学校からの連絡、各種行事への活用など様々な教育活動に反映させることができた。</p> <p>・生徒の人権についての教育や対応、「いじめ」についてもしっかりと取り組むことができた。また、新しい制服への移行による「生徒の人権」「LGBTQs」「いじめ」等の教育には引き続き真摯な姿勢で取り組んでいく。</p> <p>・「業務改善」と「働き方改革」について時間外在校等時間の平均は33時間であり昨年度と同時間であった。行事等コロナ禍前の学校生活へ復帰していく中で、ゆとりをもって業務に臨む実感が少ないとの意見もあり実感と成果が伴う業務の精選・改善に次年度以降も取り組んでいく。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	<p>校訓である「知を愛し、和を敬い、心を培え」を踏まえ、高い知性と豊かな人間性、たくましい心身を培い、高い使命感を持って社会の発展に貢献する人材を育成する。</p> <p>(1) 幅広い知識と深い教養を身に付けさせ、論理的思考力と豊かな表現力を育てる。</p> <p>(2) 敬愛・共働の精神を育み、高い倫理観と公正な判断力を育てる。</p> <p>(3) 強い意志と健やかな身体を鍛え、自己実現と社会発展に真摯に取り組む態度を育てる。</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>・ 中高6年間を見通して、それぞれの学年で生徒の「志」を高め、身に付けるべき力を定着させていく指導を確立する。</p> <p>・ 「キャリアデザイン」を通して自分自身の強みや適性を見出させ、人生観・職業観の基礎を形成し、進路意識を涵養する。</p> <p>・ 人権教育推進のため、管理職及び人権・同和教育担当者を中心とした校内推進体制の充実に努める。</p> <p>・ 教職員、家庭、外部専門機関との密な連携を推進し、いじめの早期発見・早期解決に努める。また、特別な支援が必要な生徒の把握に努め、必要な支援と合理的配慮を提供する。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善	○「授業中での話し合い活動や意見発表を通して、理解が深まった」とする生徒が75%以上	・全授業でペアやグループでの言語活動の時間をとる。根拠を明確にすることを心がけさせ、意見発表のスキル向上を図る。 ・年に2度アンケート調査を行う。							教務部 進路指導部 各学年
	○家庭学習の習慣化	○生徒自らが「起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間」を固定し、学習時間の確保、規則正しい生活の維持に効果があったとする生徒が70%以上	・手帳を有効的に活用し、家庭での学習計画・学習状況を記録させる。アンケート調査と担任面談を2回以上行う。							教務部 進路指導部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳アンケートにおいて肯定的な回答をした生徒が75%以上 ○人権・同和教育研修会に1回以上参加し、教育活動に実践できたとする教師90%以上	・保護者・地域に向けた道徳の公開授業を年に1回以上行う。(ふれあい道徳の実施) ・年に1度以上道徳アンケートを実施する。 ・人権・同和教育研修会に1回以上参加し、その成果を授業等で実践する。							教務部(道徳教育推進担当・人権・同和教育担当) 情報広報部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめの早期発見、早期対応に向けた取組」の項目で肯定的な回答が教職員、保護者ともに80%以上	・各学期1回以上の生徒向けいじめアンケートを行う。 ・積極的に対策委員会を開き、組織的な対応で早期解決を図る。							生徒指導部 各学年 保健相談部
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒60%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒70%以上	・今来手帳に、時間割・日々の出来事を記入、定期考査前には計画表に学習の状況を記入、提出をさせることで生徒理解につなげる。 ・内閣府の講師派遣事業等を活用して外部講師による講演を年に1回以上開催し、生徒に将来に向けての目標を持たせる。							各学年 進路指導部 生徒指導部 生徒会
	○環境美化	○「生活環境を整え、美しく保とうとする。」の項目で肯定的な回答が教職員、保護者ともに80%以上	・生徒の環境美化への意識を高めるために生徒会活動と連携して日常の清掃活動を充実させる。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」と回答する生徒が80%以上	・家庭科、保健体育、学活の授業で食習慣と健康への理解を深めさせる。 ・生徒会保健委員会による呼びかけを行い、食習慣に対する意識を高める。 ・年1回以上、生徒向けの食生活アンケートを行う。							保健相談部 各学年
	○「望ましい生活習慣の形成」	○睡眠・食事・学習時間を含めた生活習慣調査で望ましい回答をする生徒が70%以上	・学期に1回生活習慣調査を行い、望ましい生活習慣の形成を意欲づける。 ・学活等授業で生活習慣の振り返りを行う。 ・調査結果を保護者に知らせ、改善へ向けての支援を依頼する。							保健相談部 各学年
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・時間外の補習、部活動の縮減 ・ICTを活用した業務の効率化と代替、縮減 ・出勤システムを活用した時間外勤務の管理							管理職
	○労働環境の改善	○「時間外業務が縮減された」と回答した教職員70%以上 ○「職場の環境改善が行われた」と回答した教職員70%以上	・業務の標準化による縮減 ・職員の負担減となる事務用品(機器)の設置 ・衛生委員会の協議事項の推進							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○読書指導	○読書活動の充実	○学校図書館の本の貸出数が前年度比で増加している生徒が70%以上	・校内読書会の実施 ・図書委員による読書レースの実施 ・朝読書の実施 ・読書感想文コンクール応募と文集刊行 ・学校図書館だよりによる本の紹介							教務部(図書担当) 各学年
◎キャリア教育	○中高6年間を見通し、分野別学習の充実・系統的なキャリア教育の推進。分野ごとの取り組みや、生徒が将来の進路や職業について考える機会の充実	○将来の夢や目標を、学校行事を通して、考えることができた肯定的な回答をした生徒80%以上	・生徒全員による分野別学習の取り組みの発表の実施 ・校外研修等では、分野別学習と位置づけ、大学等で研修を行い、将来の職業への関心を高める。 ・高校生や卒業生や高校の先生方による進路講話等を実施し、目標設定の手助けを行う。							進路指導部 各学年
○生徒会活動の充実	○一人一役の係活動の設定と、生徒会活動に積極的に取り組む生徒の育成	○「生徒会の活動に積極的に参加することができた」と感じる生徒70%以上	・各種委員会(月1回) ・生徒総会(年2回) ・鳥栖香楠祭を中心とした学校行事の企画・運営 ・生徒会会長選挙及び立会演説会							生徒会 情報広報部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------